

令和7年度 2 学期終業式を行いました



12月25日(木)に終業式を行いました。インフルエンザの感染拡大を防ぐため放送での実施となりました。終業式に先立ち、国民スポーツ大会結果報告会(自転車競技部・陸上競技部・空手道部)と表彰式が行われました。表彰式では、運動部・文化部の各種大会の表彰に続いて、自転車競技部の持田さん、江戸さんに学校長表彰が授与されました。

続いて教務部長から2学期を振り返るとともに、次のステージの準備期間として3学期の位置づけの話がありました。また、行動を起こす際のモチベーションの違いを、「3人のレンガを積む男たち」に例えて話されました。

次に生徒指導部長から、自転車の一時停止や並列などの違反が多いことについて触れ、ヘルメット着用とあわせて、安全、命を守るためのルールを守ることを話されました。さらに「人を困らせて笑いをとるようなことは本当の笑いではない。」と、みんなが安心して生活できる気持ちのよい学校生活を目指そうと話されました。

続いて進路指導部長からは進路状況について話があり、本校の3年生は7割が就職・3割進学であり、これは、建設業・製造業が全国の高校求人の半分であること、工業高校で学んだことを生かすことができるため、学校に求人が多く来ることを説明されました。また進学については、就職を先送りするための安易な選択ではなく、卒業後を見据えた進学先の選択であるべきだと話されました。ただ単に進学しただけでは、卒業後に高校求人よりも条件のよい就職ができるとは限らないからです。2年生は求人票や指定校推薦の情報を見て進路について冬休みにしっかり家庭で話をし、よい進路選択ができるようにしてほしいと話されました。1年生は早めに企業研究・進学先研究を始めるために、冬休みには家族と一緒に調べたり話したりすることを勧められました。

終業式の校長訓話では、2学期に生徒に意識してほしい「言い訳・弱音を吐かない」ことを挙げ、勉強や部活動、進路決定の場面で、どう向き合ったか振り返りをしてみようと呼びかけました。そして卒業生の伊藤さんの活躍について触れ、お正月に箱根駅伝の放映を見て応援しようと呼びかけました。この活躍の後ろにはどれだけの苦労や努力があったか想像し、出雲工業高校の後輩たちにどんなことを伝えてくれるか、メッセージを受け取ってください、と話されました。